

会議録（要点筆記）

会議名	令和4年度 第1回米原市下水道事業審議会
開催日時	令和5年2月17日（金） 午前10時00分～午前12時00分
開催場所	米原市役所山東支所別館1階 多目的室
出席者および欠席者	出席者：山村幸男委員、和田政司委員、藤本 博委員、石河 宏委員、小川美佳委員、大留美智子委員 事務局：吉田まち整備部長、上下水道課 木村課長、高木課長補佐、鏝田主幹、石川主任、高畑
議題	報告案件 （1） 令和3年度下水道事業決算について （2） 令和4年度事業概要について （3） 社会資本総合整備計画について （4） 受益者負担金について
結論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	<ul style="list-style-type: none"> 社会資本総合整備計画（米原市における良好な水環境の形成）の事後評価に対する意見は、特に無かった。 受益者負担金の算定方法の統一については、今後も検討を継続することとなった。
審議経過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） ○ 事務局説明要旨 ○ 質疑応答 委員 事務局 委員 事務局	<p>1 まち整備部長あいさつ</p> <p>2 事務局紹介</p> <p>3 報告案件</p> <p>（1） 令和3年度下水道事業決算について</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度下水道事業会計の純利益は194,911,982円で、全て借金返済の積立金として使用しました。 令和3年度の経常収支は黒字であるものの、一般会計からの基準外繰入に依存している経営体質になっています。経営改善策として農業集落排水処理区域の公共下水道切替などによるコスト削減策や下水道使用料の適正化を引き続き進めていく必要があります。 <p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業集落排水処理区域から公共下水道への切替には、多額の工事費が発生しますが、そうした工事費がかかったとしても、将来の維持管理費用を考えると切替した方が良いということでしょうか。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> 切替によって毎年の維持管理費用の削減が図れるほか、1施設当たり数億円規模の処理場更新費用も不要になります。公共下水道につないだ方が経済的であることから、事業を実施しています。 <p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> 下水道使用料で経費を賄っているということだが、未納者の人について100%近い回収率はあるのでしょうか。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> 下水道使用料の滞納者は若干ございます。滞納者への手立てとして

<p>○ 事務局説明要旨</p>	<p>は、職員も回りながら滞納者から「納付誓約」をいただき、分納しながらきちんと納めてもらうように対応をしているところです。</p> <p>(2) 令和4年度事業概要について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 供用開始後20年を経過した下水道管路施設を対象に、テレビカメラ調査を実施しています。令和4年度、近江地域と春照地域を対象に調査を行った結果、95%以上が健全、残る5%は経過観察しながら継続運用可能であると判断しました。 ・ 下水道総合地震対策事業では、被災時のトイレを確保するために広域避難所にマンホールトイレシステムを順に整備しています。令和4年度は坂田小学校、伊吹山中学校、ルッチプラザに設置しました。 ・ 大地震発生時に、下水道管が深刻な損傷を受けるのを防ぐために、下水道管の耐震化工事を実施しています。令和4年度は山東地域22箇所、伊吹地域19箇所で施工し、進捗率は全体の53%となりました。 ・ 山室地区農業集落排水処理場は、供用開始から今年で27年が経過し、老朽化も進んでいます。今後の維持管理費と公共下水道への接続費用を比較すると公共下水道に切替した方が経済的であることから、令和7年の切替を目指し、令和4年度は測量と設計を進めました。
<p>○ 質疑応答</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p>	<p>➤ 長寿命化計画管路調査業務で、管路調査の結果、管路内で漏水している箇所などが判明していると思いますが、そうした箇所の修繕状況について教えて欲しい。</p> <p>➤ 不明水で緊急対応を要する場合は、修繕を行っています。</p> <p>➤ 地下水の浸透があった時には、表面をコーティングしたり、薬品注入して地盤を固める等の手法がある。下水道使用料を改定しているのだから、不明水対策を適切に行うようにしてほしい。</p>
<p>○ 事務局説明要旨</p> <p>○ 質疑応答</p> <p>会長</p> <p>委員</p>	<p>(3) 社会資本総合整備計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会資本総合整備計画(社会資本整備総合交付金分)の計画期間が令和3年度(繰越事業も含めて令和4年度)で満了したことに伴い、事後評価を実施しました。当該整備計画は、農業集落排水処理区域の公共下水道切替を進めるための計画で、計画的に事業に取り組んできたことで、目標としていた下水道処理人口普及率90.6%に対し、実績では90.7%とほぼ目標どおりの成果を上げることができました。 <p>➤ 今回の報告であった事後評価に対する意見は特にないということよろしいでしょうか。</p> <p><異議なし></p>

<p>○ 事務局説明要旨</p> <p>○ 質疑応答</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>(4) 受益者負担金について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本市と受益者負担金制度を見直し済である長浜市を除く県内17市町に対し、受益者負担金制度の見直しや廃止の検討状況について、聴取調査を行ったところ、過去に負担いただいた方との公平性を保つため等の理由から17市町とも「検討しない」との回答でした。本市においても、過去に負担された方との公平性を図る必要性から見直しをしないものとして進めていきたいと考えています。 <p>➤ 旧伊吹町域は空き家が多く、そこに都会から移住する方が地域活性化に欠かせない人になっている。旧伊吹町域で支払った負担金と公平性が保てなくても、そうした方が移り住んでくれるのであれば、大歓迎なので、負担金の統一化を図ってほしい。</p> <p>➤ 30年前とこれからの人とでは工事費も異なる。受益者負担金を統一するかは、市で考えてもらって、その中で、過疎化が進む地域や移住促進対策としての考え方を加味してもらおうと違う料金の考え方もあるのではないかと思う。</p> <p>➤ 受益者負担金の単価は、旧町域ごとに異なり、これを市内で統一することに対しては、これまで支払っておられる方との公平性が保てるかという点から難しい案件と考えています。</p> <p>意見でいただいたように、市の考え方をもう少し整理ということで、30年前の工事費が現状ではこうなるというところを調査して、検討を進めていきたいと思います。</p>
---	--

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p>■公開 傍聴者： 0 人</p> <p>□一部公開</p> <p>□非公開</p> <p>一部公開または非公開とした理由</p> <p>()</p>
<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p>■開示</p> <p>□一部開示（根拠法令等：)</p> <p>□非開示（根拠法令等：)</p>
<p>全部記録の有無</p>	<p>会議の全部記録 □有 ■無</p> <p>録音テープ記録 □有 ■無</p>
<p>担当課</p>	<p>まち整備部 上下水道課</p>